

無電柱化推進計画の推進は!?



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員
小林行男

ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 745
 2019. 10. 6

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

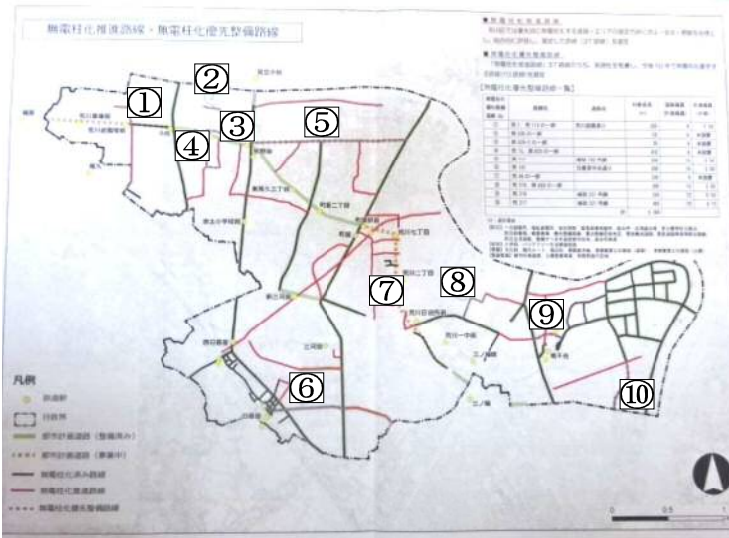
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508



台風15号で、大変な被害を受けた千葉県。国、東京都が昨年、防災、景観、円滑な交通確保等の上から「無電柱化推進計画」を発表しています。
 荒川区も無電柱化の優先路線の明確化などを目的に計画案を策定した。

計画案では○台風・地震の際の電柱の倒壊、電線の垂れ下がりに対策○ベビーカー、車イスなどの通行バリアフリー化○景観と町並み形成に役立っているもので、10年計画で地下に電線などの共同溝を作って無電柱化します。現在、区道で無電柱化されているのは、総延長で10.3キロメートル(全体の5.21%)に過ぎません。

場所	延長	幅員
1 あらかわ遊園通り	260m	8m
2 宮ノ前公園周辺	150m	6m
3 宮ノ前公園周辺	80m	4m
4 女子医大商店街通り	410m	6m
5 補助193号線	590m	15m
6 日暮里中央通り	590m	15m
7 主要生活道路(二峡小側)	240m	6m
8 スポーツセンター周辺	380m	15m
9 補助331号線	230m	22m
10 補助321号線	460m	25m

今後、○緊急輸送道路○各避難所・災害拠点病院周辺と小学校周辺やバリアフ

リが求められる生活道路も加える計画になっています。工費は1メートル当たり53万円で、1キロメートル当たりで5.3億円かかるといわれています。



②宮ノ前公園周辺、新尾久図書館周辺の現状



地中化されたゆいの森の前の道路

区役所前の荒川公園に 移動式トレーラー型喫煙所が出現!?



東京都の受動喫煙禁止条例で、9月までに学校・病院・行政機関などの敷地内禁煙、飲食店の店頭表示ステッカーの義務化を進めました。

区役所内の喫煙所がすべて廃止となりその代わりに荒川公園内にトレーナー型の屋内喫煙所を設置されることに。

整備費は1000万円(都補助10/10) 2020年4月1日全面実施に向けて、吸う人も吸わない人も快適な社会になるのでしょうか。



法律相談会

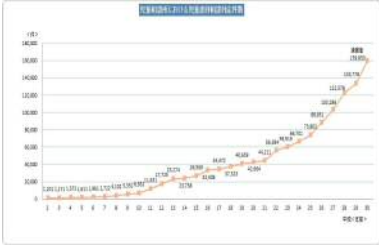


毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。

10月の相談会は、**10月15日(火)**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

児童相談所設置に急ピッチで準備!



区立児童相談所（荒川1丁目・荒川警察先）

が来年7月からの開設にむけて建設をはじめます。完成後の4月から都と区が引き継ぎ運営を実施。

深刻な児童虐待が続いており、政府も、都道府県と政令指定都市、中核都市のほか、23区も設置が可能になりました。

荒川区は、世田谷区、江戸川区とともに先行設置します。これまでに以上に保健所、保育園、学校など子どもたちがかわるすべての関係者が情報を共有して、虐待や予防や見守り、子育て支援に力をつくす体制づくりが必要です。

開設時、70人体制（児童福祉士、カウンセラー、保育士など）で相談・援助、措置などを実施します。また、養護施設・乳児院と里親制度の連携、家庭にかえす自立支援センター

など成長過程に即した援助を取り組みますが、衣食住への支援だけでなく「こころ」の支えも必要な大切な事業です。

都事業からの引継ぎ、専門職員の配置を

身近な自治体での取り組みに期待がある一方、これまで東京都と民間事業者が行ってきた、一時保護など広域調整が必要な事業や里親制度、養護施設などこれまでの歴史を引き継いでいくことは容易ではありません。

現在、都や他市に職員を派遣し研修を実施、また必要な専門職員の採用など進めています。さらに開設当初には、東京都の支援と役割が大切だと思います。

必要な財源の獲得を

区は、建設工事や研修など先行させ、必要な財源確保については都区協議の結論がでないまま、突き進んできました。施設建設の土地代3億円、工事費14億円は、区の独自財源を投入。今後のランニングコストは年、5〜6億円についても国負担なしです。東京都に事業移行にともなう財源保障を強く求めています。

また、「児童相談所設置・自治体」は、「区児童福祉審議会」を置き、保育園・学童クラブなど児童福祉施設や養護施設の設置基準の決定、無認可保育園の定期監査など担います。その他、知的障害の療育手帳、結核療育なども加わります。さらに注目していきたい。

消費税増税強行!!、値上げラッシュが大打撃に



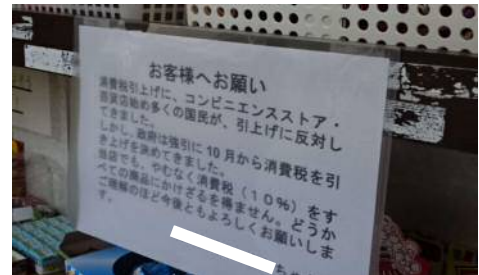
増税の日を迎えても、国民の多くは増税に納得していません。複数税率やキャッシュレス決済のポイント還元など、増税と同時に導入される複雑な制度への理解と準備も進んでいません。参加対象の約4分の1の50万店舗程度にとどまっています。多くの中小商店は手間と費用をかけて参加登録するか、身銭を切っても商いを続けるか、それともこの際廃業するかまで考えざるを得ないところに追い込まれています。

増税によって、JRや私鉄の運賃、電気や水道、郵便の公共料金を含め、多くの商品やサービスの価格が値上げされます。家計にとって大きな打撃です。

子どもたちが利用する駄菓子屋さんでも、「値上げせざるを得ない子どもたちにも負担増を押し付ける消費税はこりごり」と・・・

2万円で2・5万円分の買い物ができるなどとして、安倍政権が「低所得者向け」だと宣伝した「プレミアム付き」商品券の発行も、利用申請はまだ2割程度（全国）と低迷しています。

消費税の減税、廃止を求めています。



区内駄菓子屋さんで「子どもたちに値上げのお願い」が。値段も張り替えられていました。



○消費税増税初日から大混乱。増税で一番影響の受ける低所得のみなさん。最大限の支援をするといったが、プレミアム付商品券も不評です。2万円で2万五千円分の商品券といっても手が出ない方も。ポイント還元にも付いて行けない方々も多くいるのではないのでしょうか。やっぱり減税、廃止の道を切り開きたいものです。

